

令和8年度 いじめ防止プログラム(年間指導計画)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学校行事	○ 入学式 ○ 対面式 ○ スタディウィーク	○ 生徒総会 ○ 運動会	○ 期末考査 ○ 近隣小学校 中学校訪問	○ 面談			○ 移動教室 ○ 修学旅行	○ 中間考査 ○ 合唱祭	○ 期末考査 ○ 面談 ○ 職場体験	○ 面談 ○ 人権週間 ○ スタディウィーク	○ 私立高校・都立 高校推薦入試	○ 私立高校・都立 高校一般入試 ○ スタディウィーク	○ 学芸発表会
学級活動	いじめは卑劣 いじめ撲滅への宣言	学級開き 学級のルール作り 留意事項 いじめのない学校づくりのために生徒自らその重要性に 気づき考え行動できる仕掛けを数多く提供する	「いじめのない学校づくり」 いじめは、いじめる側が絶対に悪い 多くのいじめは休憩時間等 に起こる学級委員会を中心に皆の目 で見守り、いじめのない学校に！	ロールプレイ① 人間関係づくり	適応と整調及び健康安全 思春期の不安や悩みとその解決	誰にでもある悩み 学級活動等において誰でも通 る道なんだと言うことを理解させる	友達の良さ、ありがたさを互いに認め合える 学級環境作り		「いじめは卑劣」 人権週間と関わりを持たせて、生徒会主体での 取組をさせる			「悩んでいる人間は自分以外にもいるんだ」 自分だけというネガティブな考え方でなく、友達や大人も同じなんだと言うことに気付かせ、少しでもポジ ティブな考え方をもちらせる指導の工夫をし、生徒に 自信を持たせ、いじめのない学校にさせる	
特別活動	自分の良さを再確認しよう		「いじめのない社会を作るために」 学級活動や部活動等で生徒の主役と なる場面の設定！			「夢の実現のために」面談等を通して 生徒の夢の実現のために必要な助言を 行う			ロールプレイ② 人間関係づくり				
道徳	主として自分自身に関すること 自分の良さを再確認しよう		「友達の良さやありがたさを学ぼう」 友達とふれあうことで互いの良さを認め、健全な精神をもった人になるよう 指導していく			主として他の人とのかかわりに関すること 「友人関係、人間関係の確立」						主として自然や崇高なもののかかわりに関すること 東日本大震災等の被災者の方々の気持ちや生徒 達の作文等を活用し、支え合う命の大切さ、生きる ことの大切さを学ぶ	
総合的な学習の時間	「進級・入学に際して」 本校で良かったという実感をもたせる					生まれてきたことの幸せ、一つの命の大切さ、 支え合う命の大切さ						「卒業・進級に向けて」 本校で良かったという実感をもたせる	
各教科			「補充教室」勉強 がわかることで自己 有用感をもたせる	各教科の年間指導計画に基づき、 生徒が分かる授業を展開し、成就 感を持てる指導の工夫・改善を行う、 また、夏季休業中は補習教室を実施し、 学力向上を目指す		「学力調査」の 「結果を踏まえ、 生徒の理解度 を確認し検証	「補充教室」勉強 がわかることで自己 有用感をもたせる		「補充教室」勉強 がわかることで 自己有用感をも たせる	「区学力調査」 の「結果を踏ま え、生徒の理解 度を確認し検		「補充教室」勉強が わかることで自己 有用感をもたせる	
生徒指導	いじめ認知アンケート 各学期1回		生活アンケート 1回目	教育相談			生活アンケート 2回目	教育相談			生活アンケート 3	継続事案の検証 次年度への手立て	
家庭・地域との連携	いじめ根絶宣言 保護者への啓発		基本的な生活習を共同して徹底を図る。「地域のボランティア」や地域フェスティバル等地域に貢献し地域の信頼を得る。また、学校応援団を活用し人材活用を図る。										
キャリア教育	文部科学省の協力校として、本年度もキャリア教育を重点項目とした教育活動を実施	「生徒会としての方向性を考えさせる」 いじめは絶対許さない！傍観者でない！皆で撲滅宣言！											
	人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力をすべての教育活動を通して展開するものである。各教科を「キャリア教育」と結びつけることが大切である。例：国語「話すこと・聞くこと」英語「話すこと」美術「表現・鑑賞」などつなげながら能力を高めていく。 平成23年3月 文部科学省「キャリア教育の手引き」から												